

# 平成26年度ジョブトレーニング サポーター配置事業

資料2

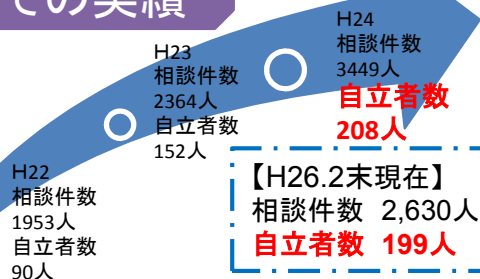
## 目標

★若年無業者(ニート)を職業的自立(就職, 進学など)させる。

## 本市の状況

若者を取り巻く雇用情勢は改善されつつあるものの依然として厳しく、いわゆるニートと呼ばれる若者が全国におよそ63万人いるとされ、社会参加に様々な困難を抱える若者の職業的自立支援を促進し、地域経済を活性化させる必要がある。  
※市内に約5,200人もものニートがいると推計。

## これまでの実績



## 新潟市の強み

- ・オール、ひきセン、サポステとの連携(にいがた若者自立応援ネット)  
⇒社会参加から社会的・職業的自立を支援!
- ・専任のジョブトレサポーター  
⇒自立件数の増加に寄与!
- ・農業分野のジョブトレ先拡大  
⇒効果的に自立を促進する!

## 取り組み内容

- ・自治体が措置する事項
  - ①若者支援機関等によるネットワーク構築及び維持
  - ②若者キャリア開発プログラム(ジョブトレ等)
  - ③臨床心理士の心理カウンセリング
  - ④各種セミナー, シンポジウム等職業意識啓発
  - ⑤保護者を対象とした講習

・臨床心理士のカウンセリングはおよそ2か月待ち。

↓  
継続的かつ効果的に支援するため、臨床心理士の強化

・ジョブトレ利用者と受入企業の関係構築が課題であったことから、H23年度より、ジョブトレサポーターを配置し、左記実績のとおり自立件数が伸びている。

・現在のジョブトレ受入企業は15社(登録企業は43社あるが、サポーター不足などの理由から利用されていない)

↓  
現状からも「土とふれあう農業体験」は、園芸福祉の観点から効果的であり、本市の特徴である農業分野で、重点的にジョブトレ先を開拓し、職業的自立を促進する。

さらなる若年無業者の職業的自立支援の強化。

## 効果

・専門家による適切で効果的な支援ができる。

・利用者の不安を解消するニーズに合ったジョブトレ実施ができる。

・若年無業者が農業を通じ、自立することで地域経済の活性化につながっていく。

・全国トップクラスの成績を維持することができる。

## 追加効果

・若者の雇用を拡大し、生産人口を確保することで、より持続可能な社会保障制度の維持に寄与することができる。